

科目名称：	心理学（ビジネス実務学科）	
担当者名：	森 彩香	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>こころの働きを知ることは、自分自身や他者の気持ちを理解する助けになります。 この講義では、基礎的な心理学の知識を学ぶことに加えて、人とのコミュニケーション方法や、ストレスへの対処法などを実践的に学んでいきます。この先の大学生活や社会人生活をより自分らしく過ごすための心理的なヒントを見つけることを目指していきます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①心理学の基礎的知識の説明ができる ②こころの基本的な仕組みや働きについて、自分自身の例を通して考えることができる ③日々の生活の中で心理的な工夫を実践することができる</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	70		30	0	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 臨床心理士	《経験年数1》 5年
	《内容2》 公認心理師	《経験年数2》 3年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
履修学生に対しては、授業に対する前向きな姿勢を求めます。

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識・理解	講義で得た知識を組み合わせて考えることができる	講義で得た知識を使って、自分なりに考えることができる	「心の働き」についておおよそ理解している	「心の働き」についての理解度が低く、知識が得られていない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 心理学について	「心は目に見えるか？」について考えておく。	20分
第2回 「見る」「感じる」ころ	好きなトリックアートをインターネット等で探しておく。	20分
第3回 「学ぶ」「覚える」ころ①	苦手なものを克服した体験を思い出し、克服できたきっかけを考えておく。	20分
第4回 「学ぶ」「覚える」ころ②	「ワーキングメモリ」について調べ、日常で使っている例を考えておく。	20分
第5回 動機づけ	自分のやる気が出るのはどのようなときかを考えておく。	20分
第6回 個性をとらえる(心理検査体験)	「血液型で性格は異なるか」を調べておく。	20分
第7回 こころの発達①～乳幼児期・児童期	「愛着」について調べておく。	20分
第8回 こころの発達②～思春期・青年期	「アイデンティティ」について調べておく。	20分
第9回 こころの発達③～成人期・中年期・高齢期	「中年期危機」について調べておく。	20分
第10回 社会の中の自分	自分の長所・短所について考えておく。	20分
第11回 ストレスとは(心理検査体験)	最近ストレスに感じた出来事を3つ以上書き出しておく。	20分
第12回 ストレスをマネジメントする	気分転換方法を3つ以上書き出しておく。	20分
第13回 対人コミュニケーション(グループワーク)	人との会話が弾む質問を考えておく。	20分
第14回 上手な自己主張をする(グループワーク)	「アサーション」について調べておく。	20分
第15回 こころの問題とケア	心の病気にはどのような種類がある調べておく。	20分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、予習・復習の上で自分の考えを文章としてまとめることを推奨する。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
不定期でリアクションペーパーを実施します(30%)。

#### 課題に対するフィードバック

リアクションペーパーについては、次回講義時に全体に対してフィードバックします。

#### 教科書・参考書

教科書： 指定しません。毎回の配布資料をもとに授業を進行します。  
参考書： 参考資料やプリントは適宜授業内で配布・紹介します。  
自分でも勉強したい学生は「エッセンシャルズ心理学」二宮克美他著 福村出版 の購入をお勧めします。